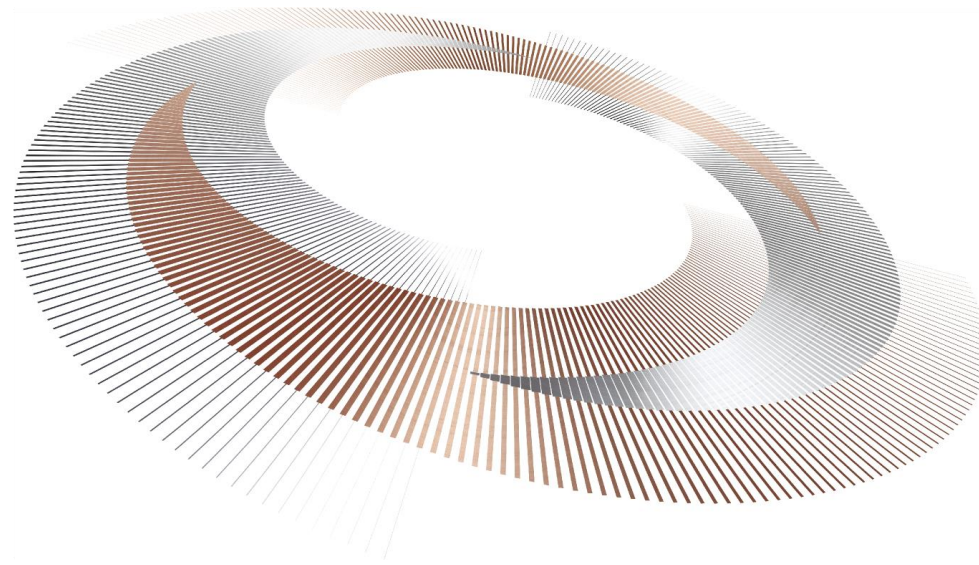


2025年3月期第3四半期決算補足説明資料

2025年2月13日



人と社会と地球のために、循環をデザインし、持続可能な社会を実現する

限りある資源を大切に使うために、使用済みの製品を資源として再生させる。

そこに新たな価値を付加し、再び社会に送り出す。

その循環のプラットフォームを構築し、自らプレイヤーとして価値を創出する。

そして未来に向けて、持続可能な社会の実現に力強く貢献し、循環の輪を広げていく。

目次

1.	エグゼクティブサマリ	P.4
2.	損益推移の状況（四半期）	P.5
3.	25年3月期3Q累計実績	P.6
4.	連結貸借対照表	P.8
5.	25年3月期通期業績予想	P.9
6.	セグメント概況	P.10
7.	セグメント別増減内訳（通期予想前年実績対比）	P.14
8.	UBE三菱セメント社概況	P.15
9.	参考情報	P.16

エグゼクティブサマリ

景況感

- 自動車市場の需要は、米国における金利引き下げや中国での新車販売施策の効果により、一部地域で回復の兆しが見られるものの、日本や東南アジアでは需要低迷が継続。
- 半導体市場は、生成AI関連など先端分野のみ引き続き好調。

3Q累計実績 (対前年同期比)

3Q実績は、対前年同期比で**増収・増益**。

- 売上高は、銅価格の上昇や為替の円安などにより**増収（10,815億円→14,836億円、対前年同期比+37%）**。
- 営業利益は、2Qでの金属事業における実収効率の改善や為替の円安などにより**増益（154億円→322億円、対前年同期比+110%）**。
- 経常利益は、3Qのロスペランブレス銅鉱山からの受取配当金が前年から減少したものの、営業利益の増益及び持分法投資利益の増加により**増益（436億円→568億円、対前年同期比+30%）**。
- 純利益は、1Qに計上したPT. Smelting（インドネシア）の持分法適用関連会社化に伴う持分変動利益などにより**増益（246億円→491億円、対前年同期比+100%）**。

通期予想 (対前回公表*)

2025年3月期通期の**連結業績予想を修正**。

売上高19,800億円(対前回予想比+300億円)、営業利益400億円(対前回予想比△10億円)、経常利益590億円(対前回予想比△40億円)、当期純利益370億円(対前回予想比△80億円)。

売上高：銅価格の上昇、為替の円安などにより**増収**。

営業利益：自動車市場の回復遅れにより**減益**。

経常利益：ロスペランブレス銅鉱山からの受取配当金減により**減益**。

当期純利益：足元における需要低迷の継続等を踏まえ、減損損失など特別損失計上を織り込み**減益**。

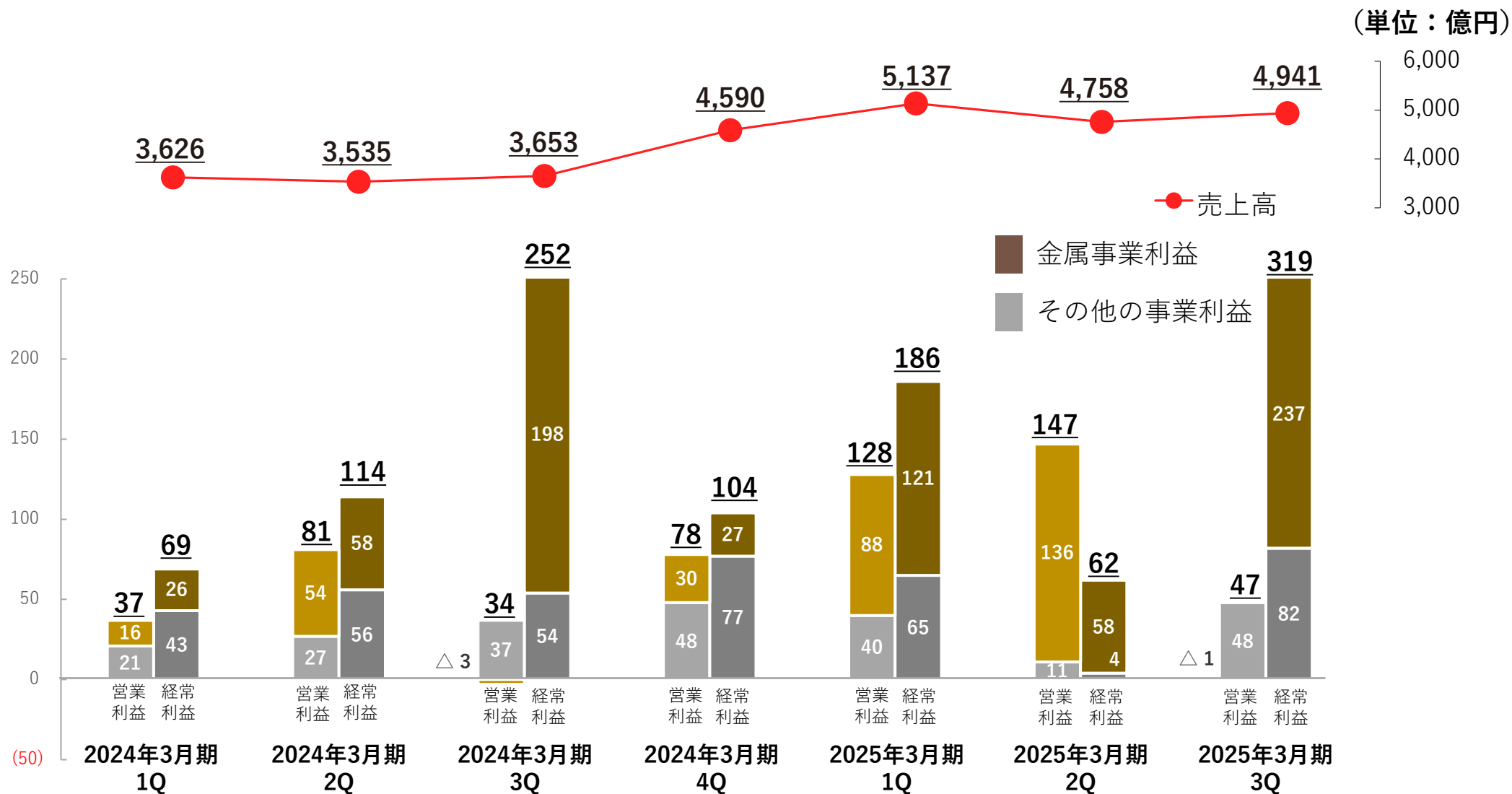
配当予想は、前回公表値から変更はなく100円（中間50円、期末50円）。

なお、前年度実績に対しては、増収増益となる。

* 前回：2024年11月8日

損益推移の状況（四半期）

- 売上高は、為替が円安に推移したことなどにより4,941億円(対前四半期比+182億円)。
- 営業利益は、実収効率の改善による利益がなかったことなどにより金属事業が減少し47億円(対前四半期比△100億円)。
(直島製錬所の実収効率の改善による利益計上は2Qと4Qのみ)
- 経常利益は、ロスペランブレス銅鉱山からの受取配当金、金銭債権債務に係る為替差益などにより319億円(対前四半期比+256億円)。



25年3月期3Q累計実績（連結損益計算書）

（単位：億円）

項目	24年3月期 3Q累計実績(a)	25年3月期 3Q累計実績(b)	増減(b-a)
売上高	10,815	14,836	+4,021
営業利益	154	322	+168
受取配当金	235	177	△57
持分法損益	86	139	+52
経常利益	436	568	+131
特別損益	△13	73	+86
親会社株主に帰属する 四半期純利益	246	491	+245
ドル為替 (円/\$)	143	153	+9
ユーロ為替 (円/€)	155	165	+10
銅価格 (¢/lb)	378	425	+47
金価格 (\$/oz)	1,961	2,492	+531
パラジウム価格 (\$/oz)	1,262	984	△277

25年3月期3Q累計実績（経常損益要因内訳）

- 営業利益は、円安による為替差、ヘッジ停止によるヘッジコスト減、実収効率の改善などにより322億円（対前年同期比+168億円）となった。
- 経常利益は、営業外損益でロスペランブレス銅鉱山からの受取配当金の減少や為替差損があったが、営業利益の増加に加え持分法投資利益の増加により568億円（対前年同期比+131億円）となった。
- ヘッジ停止関連は、3Qに金属事業の為替・価格変動差でマイナスが生じ、3Q累計では営業利益+19億円（為替・価格変動差△35億円、ヘッジコスト減少+54億円）、営業外損益△14億円となった。3Q累計でのヘッジ停止による損益額は+5億円となった。

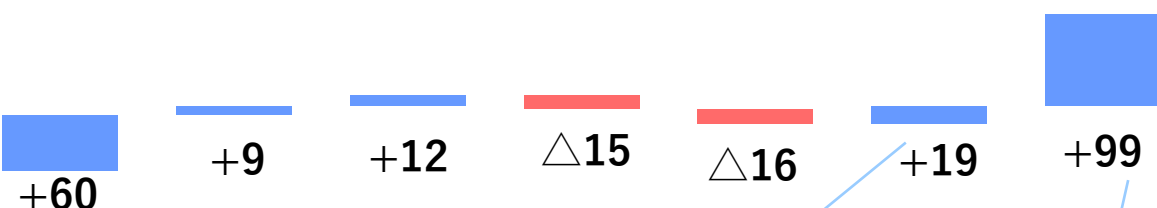
経常利益+131億円：436億円→568億円

（単位：億円）

営業利益+168億円：154億円→322億円

営業外損益△37億円

436



金属+36：為替・価格変動差△3、ヘッジコスト減+39
銅加工△17：為替・価格変動差△32、ヘッジコスト減+15

主な増減要素
金属+95（実収効率改善など）
銅加工+11（在庫調整など）
電子材料+19（棚卸資産評価損減など）
加工△33（棚卸資産評価損・在庫調整 など）



UBE三菱セメント(株)+18
Copper Mountain Mine(BC)Ltd.+11
Mantoverde S.A.+13 他

為替差損益 △18
※前年度末と当期末の為替変動による評価損益

568

24年3月期
3Q累計
経常利益

為替差
価格差 (値上げ)
価格差 (エネルギーコスト)
価格差 (原材料他)
数量差
ヘッジ停止関連
その他

受取配当金
持分法損益
その他

25年3月期
3Q累計
経常利益

連結貸借対照表

(単位：億円)

- 総資産が増加した理由としては、棚卸資産及び貸付け金地金が増加となっている。
- 今年度の第3四半期よりグローバルキャッシュマネジメントシステム（ノーショナルプーリング）の運用を開始したため、対象の流動資産と借入金・社債・CPがそれぞれの項目に計上されている。

項目	24年3月末 (a)	24年12月末 (b)	増減 (b - a)
流動資産	12,830	15,141	+2,311
固定資産他	8,845	9,237	+391
資産 計	21,676	24,379	+2,703
自己資本比率	30 %	28 %	△2 %
ネット DEレシオ	0.7 倍	0.9 倍	+0.2 倍

項目	24年3月末 (a)	24年12月末 (b)	増減 (b - a)
借入金・社債・ CP	6,031	7,095	+1,064
その他負債	8,788	10,185	+1,397
負債 計	14,820	17,281	+2,461
自己資本	6,536	6,902	+366
非支配株主持分	319	195	△124
純資産 計	6,856	7,097	+241
負債純資産 計	21,676	24,379	+2,703

25年3月期 通期業績予想

- 売上高は、銅価格の上昇、為替の円安などにより上方修正。(対前回予想比+300億円)
- 営業利益・経常利益は、自動車市場の需要回復の遅れによる当社の伸銅品、超硬製品の低調な販売などを織り込んだ。(対前回予想比 営業利益△10億円、経常利益△40億円)
- 当期純利益は、足元における需要低迷の継続等を踏まえ、減損損失など特別損失を織り込んだ。(対前回予想比△80億円)

損益計算書 (単位：億円)	24年 3月期 実績(a)	25年3月期			増減 (c-a)
		前回 (11/8) 予想(b)	今回 予想(c)	増減 (c-b)	
売上高 <i>YoY</i>	15,406	19,500	19,800	+300 <i>+1.5%</i>	+4,394 <i>+28.5%</i>
営業利益 <i>YoY</i>	232	410	400	△10 <i>▲2.4%</i>	+168 <i>+71.8%</i>
経常利益 <i>YoY</i>	541	630	590	△40 <i>▲6.3%</i>	+49 <i>+9.1%</i>
親会社株主に帰属 する当期純利益 <i>YoY</i>	297	450	370	△80 <i>▲17.8%</i>	+72 <i>+24.2%</i>

一株 配当	中間	円	47	50	50	-	+3
	期末	円	47	50	50	-	+3

為替・ 金属価格		24年 3月期 実績(a)	25年3月期			増減 (c-a)
			前回 (11/8) 予想(b)	今回 予想(c)	増減 (c-b)	
ドル 為替	円/\$	145	151	153	+2	+9
ユーロ 為替	円/€	157	163	164	+1	+7
銅価格	¢/lb	379	415	419	+4	+40
金価格	\$/oz	1,989	2,353	2,544	+191	+555
パラジウム 価格	\$/oz	1,191	1,036	988	△47	△202

感応度 * 1				4Q 影響額
為替	営業利益1円/\$円安	億円		+2.5
	営業利益1円/€円安	億円		+0.3
銅価格	営業利益10¢/lb	億円	a	+1.0
	営業外損益10¢/lb	億円	b	+0.1
	経常利益10¢/lb	億円	a+b	+1.0

* 1:感応度に在庫評価影響は含んでおりません。

セグメント概況（金属事業）

- 3Q累計実績は、ロスペランブレス銅鉱山からの受取配当金の減少があったが、為替が円安基調で推移し、為替差やヘッジ停止による為替・価格変動差での増益があったことに加え、実収効率の改善、持分法投資損益の改善などにより経常利益は418億円（対前年同期比+135億円）となった。
- 通期予想は、金価格などの上昇により増収。一方、経常利益は為替の円安の影響があったものの、電気銅の販売減、ロスペランブレス銅鉱山からの受取配当金の減少などにより454億円（対前回予想比△16億円）を見込む。（通期でのヘッジ停止による影響は+5億円）。

項目	24年3月期 3Q累計実績 (a)	25年3月期 3Q累計実績 (b)	増減 (b-a)
売上高 億円	7,163	10,950	+3,786
営業利益 億円	67	223	+155
経常利益 億円	283	418	+135

前回(11/8) 通期予想(c)	今回 通期予想(d)	増減 (d-c)
14,294	14,639	+345
287	273	△13
471	454	△16

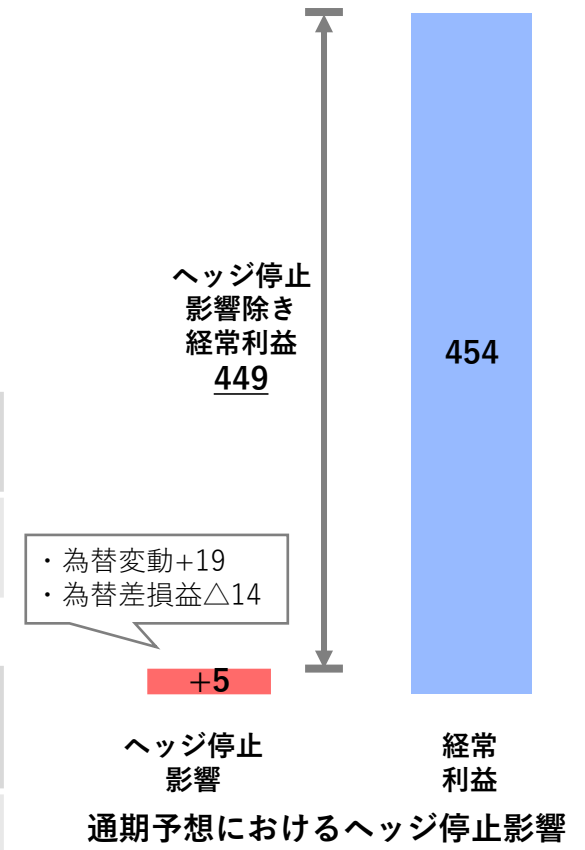
経常利益増減要因内訳	3Q累計実績 増減	通期予想 増減
為替差	+30	+8
価格差 * 1	△2	△5
数量差	△2	△14
受取配当金	△53	△15
持分法損益	+31	-
その他 * 2	+131	+10
経常利益増減	+135	△16

* 1価格差の主な内訳

3Q累計 実績増減	パラジウム 他
通期予想 増減	パラジウム 他

* 2その他の主な内訳

3Q累計 実績増減	実収効率+71、ヘッジコスト+39 棚卸資産評価損益+10 他
通期予想 増減	為替差損益+19

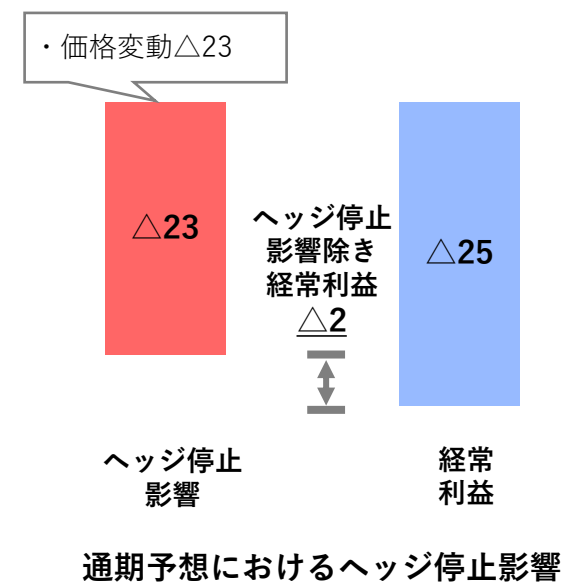


セグメント概況（銅加工事業）

- 3Q累計実績は、為替の円安による増益、ヘッジコストの減少があったものの、ヘッジ停止による為替・価格変動差での減益などにより経常利益は△24億円（対前年同期比△19億円）となった。
- 通期予想は前回予想に対して、自動車市場、半導体市場の需要回復が当初想定に比べ緩やかとなり、経常利益は△25億円（対前回予想比△0億円）を見込む。
- ヘッジ停止による影響（△23億円）を除いた通期の経常利益は△2億円。
- 収益改善に向けて、引き続き生産プロセスの合理化や生産性向上などのコストダウン施策を進めていく。

項目	24年3月期 3Q累計実績 (a)	25年3月期 3Q累計実績 (b)	増減 (b-a)
売上高 億円	3,103	3,279	+176
営業利益 億円	18	4	△14
経常利益 億円	△4	△24	△19

前回(11/8) 通期予想(c)	今回 通期予想(d)	増減 (d-c)
4,579	4,438	△141
13	14	+0
△24	△25	△0



*1価格差の主な内訳

3Q累計 実績増減	エネルギー価格差+1
通期予想 増減	価格値上げ

*2その他の主な内訳

3Q累計 実績増減	為替価格変動差△32 ヘッジコスト+14他
通期予想 増減	為替価格変動差+20 他

経常利益増減要因内訳

	3Q累計実績 増減	通期予想 増減
為替差	+3	+1
価格差*1	+2	+9
数量差	△12	△27
その他*2	△12	+17
経常利益増減	△19	△0

セグメント概況（電子材料事業）

- 3Q累計実績は、半導体関連部品の一部については回復の兆しが見られたものの、シール製品の在庫調整局面となり、事業全体での売上高は前年同期並み。棚卸資産の在庫評価損益などにより経常利益は36億円（対前年同期比+20億円）となった。
- 通期予想は前回予想に対して、半導体向けの需要回復などにより増益を見込む。経常利益は44億円（対前回予想比+7億円）を見込む。

項目	24年3月期 3Q累計実績(a)	25年3月期 3Q累計実績(b)	増減 (b-a)	前回(11/8) 通期予想(c)	今回 通期予想(d)	増減 (d-c)
売上高 億円	590	584	△6	747	768	+20
営業利益 億円	7	24	+16	24	31	+6
経常利益 億円	16	36	+20	37	44	+7

経常利益増減要因内訳

	3Q累計実績 増減	通期予想 増減
為替差	+0	-
価格差	△1	+1
数量差	△2	+6
受取配当金	+0	-
持分法損益	+0	-
その他*1	+23	-
経常利益増減	+20	+7

*1その他の主な内訳

3Q累計 実績増減	棚卸資産評価損益+15他
通期予想 増減	—



セグメント概況（加工事業）

- 3Q実績は、為替の円安や値上げ効果などがあったが、自動車向けの需要が低調であったことに加えて、為替差損益の減少(前年度末と当期末の為替変動による評価損益)などにより経常利益は67億円（対前年同期比△24億円）となった。
- 通期予想は前回予想に対して、自動車向けの需要回復がより緩やかになることなどにより経常利益は87億円（対前回予想比△21億円）を見込む。

項目	24年3月期 3Q累計実績(a)	25年3月期 3Q累計実績(b)	増減 (b-a)	前回(11/8) 通期予想(c)	今回 通期予想(d)	増減 (d-c)
売上高 億円	1,047	1,109	+62	1,528	1,488	△40
営業利益 億円	82	68	△13	111	91	△20
経常利益 億円	91	67	△24	108	87	△21

経常利益増減要因内訳

	3Q累計実績 増減	通期予想 増減
為替差	+25	-
価格差*1	+7	△7
数量差	△12	△7
受取配当金	-	-
その他*2	△43	△7
経常利益増減	△24	△21

*1価格差の主な内訳

3Q累計 実績増減	値上げ効果+7
通期予想 増減	数量減による値上げ効果減他

*2その他の主な内訳

3Q累計 実績増減	棚卸資産評価損益△7、在庫調整△12 為替差損益△9他
通期予想 増減	在庫調整、DX費用

セグメント別増減内訳（通期予想前年実績対比）

（単位：億円）

項目	24年3月期 実績(a)			今回予想(b)			増減 (b-a)			営業利益・経常利益 変動要因
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	(増)：増益 (減)：減益
金属	10,380	98	310	14,639	273	454	+4,259	+175	+144	(増)為替差 (増)電気銅・金・銀増販 (増)実収効率の改善 (減)鉱山配当減
高機能製品 *1	4,887	40	18	5,194	39	13	+307	△1	△5	—
銅加工	4,102	26	△5	4,438	14	△25	+336	△12	△20	(増)価格改定など (減)需要の回復遅れ
電子材料	799	17	28	768	31	44	△31	+14	+16	(増)半導体需要一部回復 棚卸資産評価損減
加工	1,400	108	122	1,488	91	87	+88	△17	△35	(増)価格改定 (減)自動車需要回復遅れ 在庫調整など
再生可能 エネルギー	46	8	8	85	22	25	+39	+14	+17	(増)安比地熱発電所開業
その他	1,606	78	221	1,583	47	155	△23	△31	△66	—
調整額	△2,913	△101	△140	△3,191	△75	△146	△278	+26	△6	—
合計	15,406	232	541	19,800	400	590	+4,394	+168	+49	

*1:高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

UBE三菱セメント社概況

■UBE三菱セメント社連結損益計算書

(単位：億円)

項目		24年3月期 3Q実績	25年3月期 3Q実績	25年3月期 通期予想
売上高	国内事業	3,093	2,872	3,795 (3,840)
	海外事業	1,385	1,440	1,825 (1,880)
	計	4,478	4,312	5,620 (5,720)
営業利益	国内事業	116	150	175 (160)
	海外事業	249	280	305 (300)
	計	365	431	480 (460)
経常利益		384	450	480 (460)
親会社株主に帰属する 純利益		193	248	260 (220)

■当社持分法投資損益

項目	24年3月期 3Q実績	25年3月期 3Q実績	25年3月期 通期予想
持分法投資損益	97	115	117 (99)

()は2024年11月8日に発表した予想

■UBE三菱セメント社諸元

項目		24年3月期 3Q実績	25年3月期 3Q実績	25年3月期 通期予想
セメント (国内総需要)	万 t	2,671	2,515	3,300 (3,300)
セメント (国内)販売数量	万 t	635	596	790 (800)
セメント (米国)販売数量	万 st	135	124	160 (170)
生コン (米国)販売数量	万 cy	539	490	625 (660)
一般炭価格 (参考指標)	\$/ t	148	138	141 (144)
ドル為替	円/\$	143	153	151 (149)

※上記一般炭価格は参考指標であり、実際の調達価格とは異なる。

(参考) 24年12月末 連結貸借対照表

(単位：億円)

総資産	8,338	有利子負債	1,634	自己資本	3,938
自己資本比率	47.2	ネットD/Eレシオ	0.18		

- 国内事業：(3Q実績) 売上高は、環境エネルギー事業における石炭及び電力の販売減が響き対前年同期で減収。
営業利益は、主にセメント事業の値上と熱エネルギー価格低下、及び資源事業の値上の効果により対前年同期で増益。
(通期予想) 4Qはセメント事業を中心にコスト上昇等の影響を受け減益となるも、通期では対前年(*)で減収増益を見込む。
*24年3月期実績： 売上高 4,071億円 営業利益 150億円
- 海外事業：(3Q実績) 米国事業は金利高の影響等により需要が低調に推移したが、前年度実施の値上効果や為替影響が寄与し対前年同期で増収増益。
豪州石炭事業は販売価格の下落等により対前年同期で減収減益、海外事業全体では対前年同期で増収増益。
(通期予想) 4Qの米国事業は低調な需要下でコスト上昇等の影響を受け減益となるも、海外事業全体の通期営業利益は前年(*)並みを見込む。
*24年3月期実績： 売上高 1,781億円 営業利益 306億円

参考情報

セグメント別増減内訳（3Q累計実績前年同期対比）

（単位：億円）

項目	24年3月期 3Q累計実績(a)			25年3月期 3Q累計実績(b)			増減 (b-a)		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
金属	7,163	67	283	10,950	223	418	+3,786	+155	+135
高機能製品 *1	3,683	24	9	3,855	24	8	+172	+0	△1
銅加工	3,103	18	△4	3,279	4	△24	+176	△14	△19
電子材料	590	7	16	584	24	36	△6	+16	+20
加工	1,047	82	91	1,109	68	67	+62	△13	△24
再生可能 エネルギー	35	5	5	63	19	22	+28	+14	+17
その他	1,142	32	133	1,133	39	148	△9	+6	+15
調整額	△2,256	△58	△86	△2,275	△53	△96	△19	+5	△9
合計	10,815	154	436	14,836	322	568	+4,021	+168	+131

*1:高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

セグメント別増減内訳（通期予想前回予想対比）

（単位：億円）

項目	前回予想(a)			今回予想(b)			増減 (b-a)		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
金属	14,294	287	471	14,639	273	454	+345	△13	△16
高機能製品 *1	5,314	29	5	5,194	39	13	△119	+9	+8
銅加工	4,579	13	△24	4,438	14	△25	△141	+0	△0
電子材料	747	24	37	768	31	44	+20	+6	+7
加工	1,528	111	108	1,488	91	87	△40	△20	△21
再生可能 エネルギー	86	24	26	85	22	25	△1	△1	△1
その他	1,656	41	154	1,583	47	155	△73	+6	+0
調整額	△3,381	△84	△136	△3,191	△75	△146	+189	+8	△9
合計	19,500	410	630	19,800	400	590	+300	△10	△40

*1:高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

前年実績対比（セグメント別要因内訳）

（単位：億円）

項目		24年3月期 3Q累計実績 (a)	25年3月期 3Q累計実績 (b)	増減 (b-a)	為替差	価格差	数量差	受取 配当金	持分法 損益	その他
金属	売上高	7,163	10,950	+3,786	+571	+1,596	+1,619	-	-	-
	営業利益	67	223	+155	+30	△2	△2	-	-	+129
	経常利益	283	418	+135	+30	△2	△2	△53	+31	+131
高機能製品 *1	売上高	3,683	3,855	+172	+92	+305	△225	-	-	-
	営業利益	24	24	+0	+4	+1	△14	-	-	+8
	経常利益	9	8	△1	+4	+1	△14	△0	+0	+7
銅加工	売上高	3,103	3,279	+176	+85	+307	△216	-	-	-
	営業利益	18	4	△14	+3	+2	△12	-	-	△7
	経常利益	△4	△24	△19	+3	+2	△12	△0	-	△12
電子材料	売上高	590	584	△6	+6	△2	△10	-	-	-
	営業利益	7	24	+16	+0	△1	△2	-	-	+19
	経常利益	16	36	+20	+0	△1	△2	+0	+0	+23
加工	売上高	1,047	1,109	+62	+51	+27	△16	-	-	-
	営業利益	82	68	△13	+25	+7	△12	-	-	△33
	経常利益	91	67	△24	+25	+7	△12	-	-	△43
再生可能 エネルギー	売上高	35	63	+28	-	△0	△5	-	-	+34
	営業利益	5	19	+14	-	△0	△3	-	-	+17
	経常利益	5	22	+17	-	△0	△3	-	+1	+19
その他	売上高	1,142	1,133	△9	+8	-	△17	-	-	-
	営業利益	32	39	+6	+0	-	△0	-	-	+6
	経常利益	133	148	+15	+0	-	△0	△4	+18	+1
調整額	売上高	△2,256	△2,275	△19	△105	△204	+290	-	-	-
	営業利益	△58	△53	+5	-	-	+16	-	-	△11
	経常利益	△86	△96	△9	-	-	+16	△0	△0	△25
合計	売上高	10,815	14,836	+4,021	+618	+1,725	+1,643	-	-	+34
	営業利益	154	322	+168	+60	+6	△16	-	-	+118
	経常利益	436	568	+131	+60	+6	△16	△57	+52	+86

*1:高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

セグメント別四半期推移

(単位：億円)

項目		24年3月期							25年3月期						
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
金属	売上高	2,409	2,358	4,768	2,395	3,216	5,611	10,380	3,900	3,424	7,324	3,625	3,689	7,314	14,639
	営業利益	16	54	71	△3	30	27	98	88	136	224	△1	50	49	273
	経常利益	26	58	84	198	27	225	310	121	58	180	237	36	273	454
高機能製品 *1	売上高	1,205	1,224	2,429	1,253	1,204	2,457	4,887	1,323	1,288	2,611	1,243	1,339	2,582	5,193
	営業利益	4	3	8	16	16	32	40	23	△33	△10	35	14	49	40
	経常利益	2	△0	1	8	8	16	18	20	△43	△23	31	5	36	13
銅加工	売上高	1,016	1,027	2,043	1,059	999	2,058	4,102	1,130	1,098	2,229	1,049	1,159	2,208	4,438
	営業利益	5	5	10	8	7	15	26	17	△32	△14	19	9	28	14
	経常利益	△0	△1	△2	△2	△1	△3	△5	8	△42	△34	10	△1	9	△25
電子材料	売上高	189	199	388	201	208	410	799	198	189	388	196	184	380	768
	営業利益	1	△1	0	7	9	17	17	7	1	9	15	6	21	31
	経常利益	4	2	6	9	11	21	28	14	1	16	20	8	28	44
加工	売上高	350	347	698	349	352	702	1,400	381	364	746	363	378	741	1,488
	営業利益	32	19	52	29	25	55	108	29	38	68	0	22	22	91
	経常利益	41	22	63	27	31	59	122	34	28	63	3	20	23	87
再生可能 エネルギー	売上高	12	10	22	12	11	23	46	23	21	45	18	21	39	84
	営業利益	3	△0	2	3	2	5	8	9	7	16	3	2	5	22
	経常利益	3	△0	3	2	3	5	8	12	5	18	4	2	6	25
その他	売上高	334	390	725	417	463	880	1,606	350	376	727	406	450	856	1,583
	営業利益	△1	16	15	16	45	62	78	6	15	21	17	8	25	46
	経常利益	20	62	82	51	87	138	221	40	49	89	58	6	64	154
調整額	売上高	△686	△795	△1,482	△774	△657	△1,431	△2,913	△842	△717	△1,559	△716	△916	△1,632	△3,191
	営業利益	△18	△12	△31	△27	△42	△70	△101	△28	△16	△45	△8	△22	△30	△75
	経常利益	△24	△27	△51	△35	△53	△88	△140	△43	△35	△79	△16	△50	△66	△145
合計	売上高	3,626	3,535	7,161	3,653	4,590	8,244	15,406	5,137	4,758	9,895	4,941	4,963	9,904	19,800
	営業利益	37	81	119	34	78	113	232	128	147	275	47	77	124	400
	経常利益	69	114	184	252	104	356	541	186	62	249	319	21	340	590

*1:高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

諸元

主要製品の生産・販売動向

項目			24年3月期						25年3月期							
			1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
電気銅*1	生産量	千 t	96	109	204	95	113	208	413	112	102	214	98	92	190	405
	販売量	千 t	86	99	186	92	111	203	388	102	93	195	88	92	180	376
金	生産量	t	9	6	14	4	8	12	26	9	9	19	10	10	20	39
	販売量	t	8	6	14	4	8	12	26	9	9	19	10	11	20	39
銀	生産量	t	66	61	126	44	65	109	235	81	75	156	69	90	159	315
	販売量	t	65	61	126	39	71	110	236	82	74	156	69	90	159	315
伸銅品	販売量	千 t	29	31	61	32	31	63	124	29	29	58	31	30	61	118

*1：電気銅生産量は受託分を含んでおります。

鉱山配当額の推移

項目			24年3月期						25年3月期							
			1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
Los Pelambres	配当額	億円	–	–	–	208	1	210	210	–	–	–	137	△0	136	136
Escondida	配当額	億円	6	3	9	9	2	12	21	8	–	8	27	7	34	43
鉱山配当額計	配当額	億円	6	3	9	217	4	222	231	8	–	8	164	6	171	180

金属価格・為替の推移

項目		24年3月期						25年3月期							
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
ドル為替レート	円/\$	137	145	141	148	149	148	145	156	149	153	152	155	154	153
ユーロ為替レート	円/€	149	157	153	159	161	160	157	168	164	166	163	160	161	164
銅価格(LME)	¢/lb	385	379	382	371	383	377	379	442	417	430	416	400	408	419
金価格	\$/oz	1,978	1,929	1,954	1,976	2,072	2,024	1,989	2,338	2,476	2,407	2,662	2,700	2,681	2,544
パラジウム価格	\$/oz	1,449	1,251	1,350	1,085	978	1,031	1,191	972	970	971	1,011	1,000	1,005	988

持分法投資損益内訳

(単位：億円)

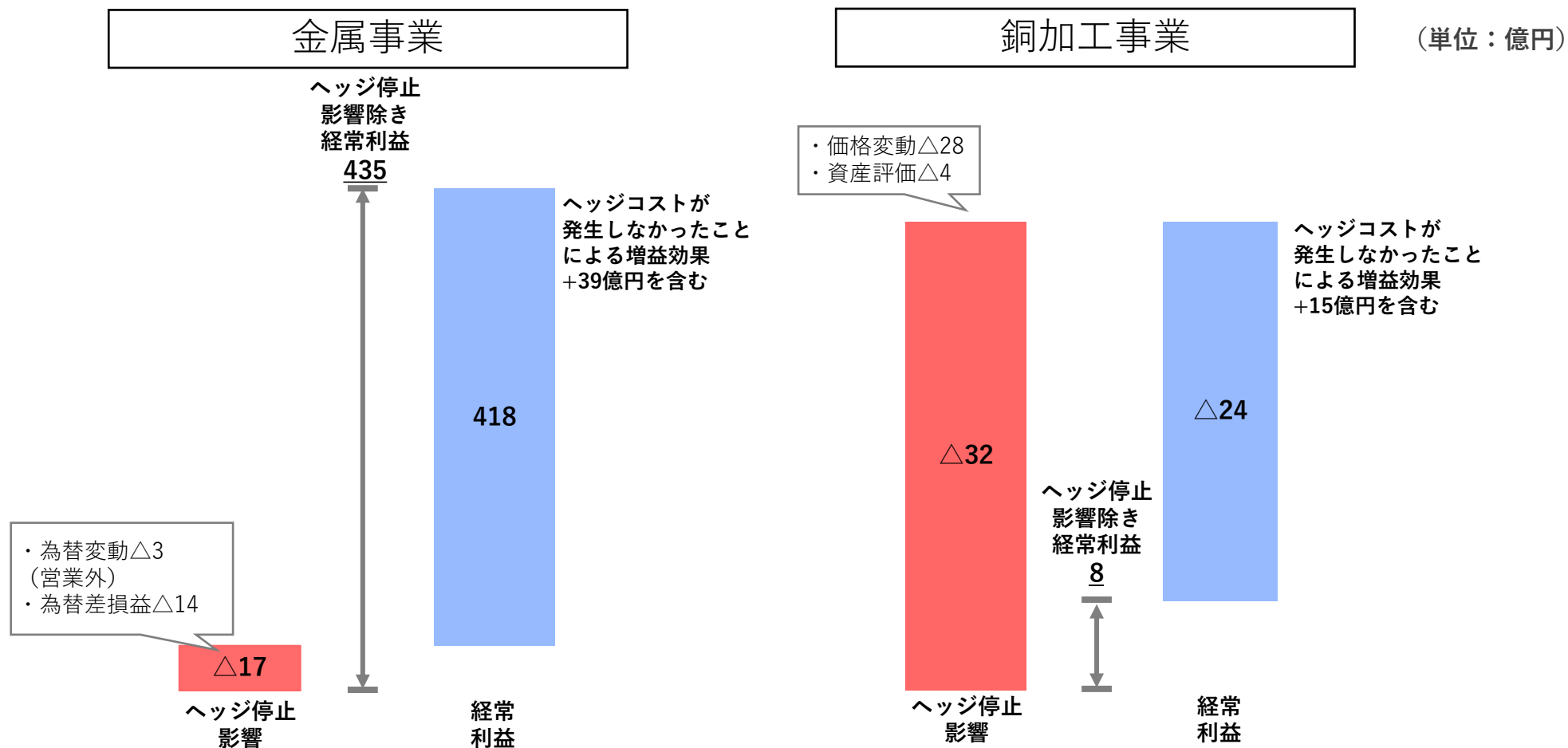
会社名	当社持分	24年3月期							25年3月期						
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
Copper Mountain Mine(BC)Ltd.	25%	△4	△17	△22	5	△5	0	△22	0	△6	△6	0			
Mantoverde S.A.	30%	△12	2	△10	△2	△10	△13	△23	△2	△4	△6	6			
PT.Smelting * 1	34%	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4	2			
関西リサイクルシステムズ	41.4%	1	1	2	1	1	2	5	1	1	3	1			
フジクラダイヤケーブル*2	22%	2	1	4	2	2	5	9	3	0	4	3			
湯沢地熱	30%	0	0	0	2	1	4	4	3	△0	3	2			
UBE三菱セメント	50%	20	47	67	29	41	70	138	36	36	72	43			
その他		1	1	2	1	△2	△0	2	2	△0	1	1			
合計		7	37	45	41	28	70	115	45	31	76	63			

* 1:第三者割当増資の完了に伴って持分比率が低下したため、25年3月期第2四半期より持分法適用関連会社として損益取り込み

* 2:24年3月期当社持分22.5%、25年3月期当社持分22%

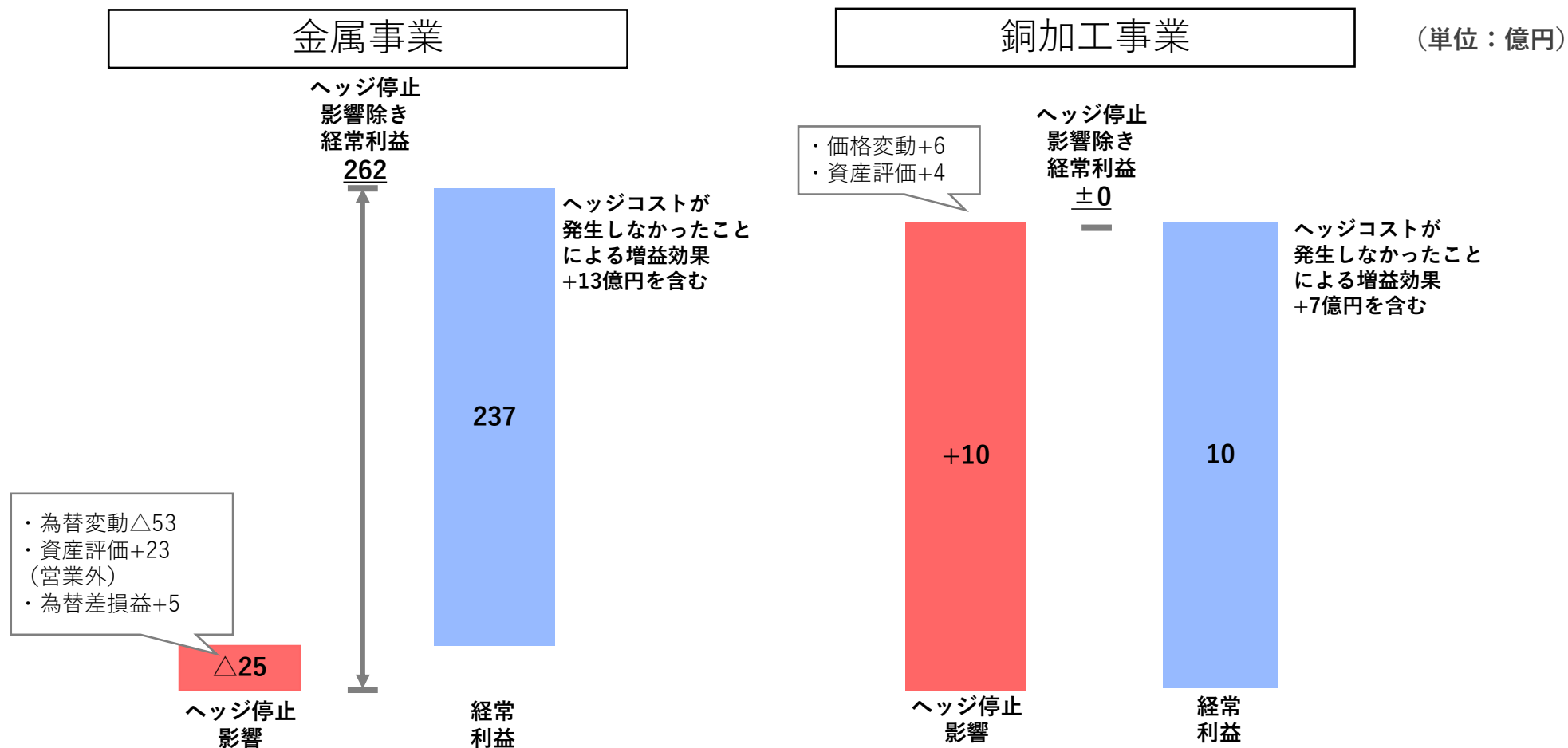
25年3月期3Q累計実績（ヘッジ停止関連概要）

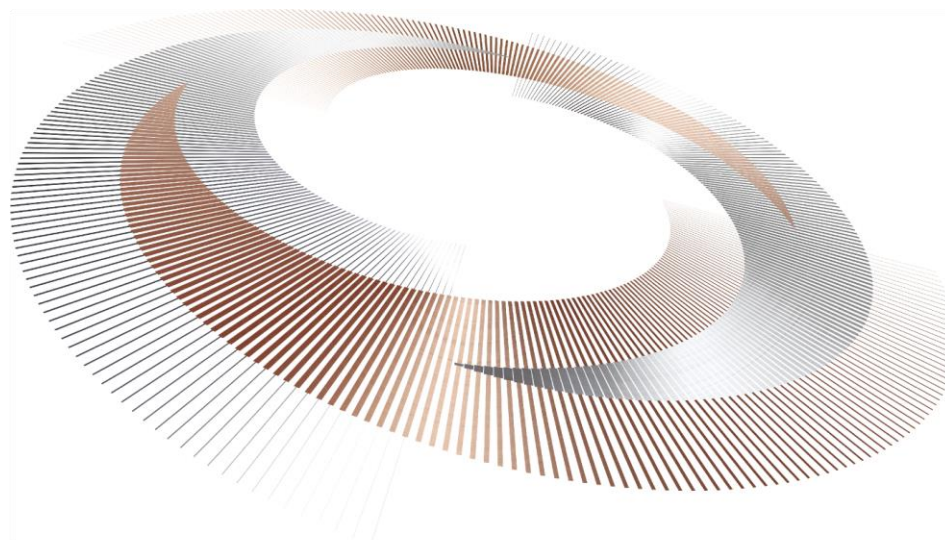
- 金属事業：経常利益418億円に対して、ヘッジを停止したことによる収益影響は△17億円（営業利益影響△3億円、経常利益影響△14億円）であった。ヘッジ停止影響を除いた経常利益は435億円となった。ヘッジコストが発生しなかったことで3Q累計で+39億円の増益効果もあった。
- 銅加工事業：経常利益△24億円に対して、ヘッジを停止したことによる収益影響は△32億円（営業利益影響）であった。ヘッジ停止影響を除いた経常利益は8億円と黒字を確保した。ヘッジコストが発生しなかったことで3Q累計で+15億円の増益効果もあった。
- 3Q累計全体での金属事業と銅加工事業を合わせたヘッジ停止による収益影響は、為替・価格変動などで△49億円、ヘッジコストが発生しなかったことで+54億円の増益効果となり、合計では+5億円となった。



25年3月期3Q実績（ヘッジ停止関連概要）

- 金属事業：経常利益237億円に対して、ヘッジを停止したことによる収益影響は△25億円（営業利益影響△30億円、経常利益影響+5億円）であった。ヘッジ停止影響を除いた経常利益は262億円となった。ヘッジコストが発生しなかったことで3Qで+13億円の増益効果もあった。
- 銅加工事業：経常利益10億円に対して、ヘッジを停止したことによる収益影響は+10億円（営業利益影響として）であった。ヘッジ停止影響を除いた経常利益は±0億円となった。ヘッジコストが発生しなかったことで3Qで+7億円の増益効果もあった。
- 3Qでの金属事業と銅加工事業を合わせたヘッジ停止による収益影響は、為替・価格変動などで△15億円、ヘッジコストが発生しなかったことで+20億円の増益効果となり、合計では、+5億円となった。





人と社会と地球のために、循環をデザインし、持続可能な社会を実現する



お問合せ先

三菱マテリアル株式会社
コーポレートコミュニケーション室 IRグループ

〒100-8117 東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビル

ml-mmcir@mmc.co.jp

<https://www.mmc.co.jp/corporate/ja/index.html>

<お知らせ>

最新の適時開示など、当社IRに関する情報のメール配信サービスをご希望の方は、
以下のURLからご登録ください

<https://www.mmc.co.jp/corporate/ja/ir/irmail.html>

<免責事項>

本資料における見通しは、本資料発表日時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。
実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。
本資料に掲載されている内容・写真・図表などの無断転載を禁止します。